

表 の 見 方

.....

1. 本表では、国語・社会は観点別、算数・理科は領域ごとに区分し見やすくした。なお理科の、Aは「生物とその環境」、Bは「物質とエネルギー」、Cは「地球と宇宙」の区分である。
2. 大問番号、小問番号は「福島県標準学力診断検査問題」の番号を示す。
3. 正答率は小問ごと、観点・領域ごとに表示し、一覧できるようにした。
4. 正答率の信頼区間は、全県下の、小問ごと・領域別・全体の正答率などが、95%の確からしさにおいて、その数値の示す区間内にあることを示す。
正答率の信頼区間が、
 - (1) 上限の値より大であれば、県正答率より「良い」
 - (2) 数値の示す区間内にあれば、県正答率なみの成績で「普通」
 - (3) 下限の値より小であれば、県正答率より「悪い」と判定できる。
5. 各問ごとに「ねらい」を明示し、ねらいと正答率が対比できるようにした。

(詳細は、「福島県標準学力診断検査の手引き」を参照されたい。)